

やめるべ、大間原発

11.3 北海道集会

～大間原発建設ぜったいだめだべや！！～

2012. 11/3 (土)

千代台運動公園広場集合

13:00～

集会終了後、14時よりデモ行進を行います!!

めざそう！！「脱原発」社会の実現を！！

私たち平和運動フォーラムは、福島第一原発事故以前から「脱原発」社会の実現を目指し運動を行ってきました。特に青森県大間町に建設中の大間原発は、商業用としては世界ではじめてのフルMOX燃料を使用する非常に危険な原子力発電所であることを指摘し建設の中止を国や北海道に求めてきました。

民主党政権は、先般、「2030年代の原発ゼロ」を目指すこととする旨の発表を行いました。しかし、その発表を打ち消すように、経済産業大臣は青森県を訪れ、知事に「設置許可を出した原発は変更することはない」と伝え、電源開発は、「国のお墨付き」をもらったが如く、建設再開を強行しました。

福島原発事故で原発事故が及ぼすリスクは明らかであります。このまま大間原発が建設され、仮に、40年ルールが守られたとしても「原発ゼロ」まで最低半世紀かかりその半世紀の間に福島と同じ過ちを繰り返しかねません。

今こそ「完全なる原発ゼロ」社会の実現を目指し下記のとおり集会を開催しますので、多くの参加をお願いします。

戸井方面からは肉眼でも建設現場が確認できるほど近いのです！！

**大間原発建設中止の声を
道民に大きくひろげていきましょう!!**



主催：北海道平和運動フォーラム 道南地域平和運動フォーラム
「脱原発・クリーンエネルギー」市民の会

連絡先 函館市新川町2-16

TEL (0138) 26-1112

プルサーマル計画について

2009年、高橋道知事が泊原発での受け入れを表明したプルサーマル発電。どんな問題があるか知っていますか？ 大間はプルサーマル計画推進の危険な原発です！

「プルサーマル」の意味

「プルサーマル」とは、プルトニウムをサーマル・ニュートロン・リアクター(通常の原子炉)で使うことをいう造語。「MOX 燃料」を使用する危険な計画なのです。

「MOX 燃料」とは

原発では発電燃料として比較的扱いやすいウランを使用しています。それに比べて、プルトニウムは臨界状態に陥りやすいので、燃料としても扱いにくいのです。扱いやすいように、プルトニウムとウランを混ぜた燃料が「MOX 燃料」です。しかし、結果的には、危険は増えています。



「プルトニウム」の危険性

「プルトニウム」は、ウランが反応し終わった「燃えかす」を再処理して作られます。燃料として再利用できますが、「プルトニウム」は、ウラン以上に強い毒性を持っています。

福島原発の事故では、「プルトニウム 239」だけで推定 32 億ベクレルが大気中に放出されました。「プルトニウム 239」は半減期が 24,100 年です。

呼吸器から肺に取り込まれると、少しずつ体内へ吸収され、骨や肝臓などに移り、身体に大きな影響を与えます。

「プルサーマル発電」とは

MOX 燃料を使うために高速増殖炉が作られました。しかし、高速増殖炉「もんじゅ」がナトリウム漏れ事故を起こし、運転計画自体が立ちゆかなくなっています。

このため日本には、プルトニウムが大量に余っています。このままでは「日本は原子爆弾を作るつもりでは？」と国際社会から疑われる可能性があります。

そこで、保有量を減らすために、プルトニウムを使用する原発を建設しようとしているのです。

そのために大間原発を稼働させようと建設が再開されました。



大間原発建設をみんなとめよう!!